

# 福井いきいき会新聞

10 福井市：6 頁副  
年：い井29 行岡  
1 行き福9-28 行岡  
2021 発行：16-776 発吉  
月井会中 0746 任会

## 一生勉強 一生感動 一生青春 (第34号)

### 文化祭成功裏に終了

当会初の文化祭が、十月三日(日)、八ピリンホールで開催され、百八十名以上の参加者を得て、大成功のうちに終了しました。晴天に恵まれた初秋の一日、午前九時から展示の準備や、舞台でのリハーサルを終え、正午には、予定通り開場し、来場者を迎えることが増えていく来場者は、



咲き乱れるコスモスの花 (グリーンセンター)

**福井会長のお礼の言葉**  
昨年来ご支援をいただいた杉本知事をはじめとする行政の皆様、それに福井信用金庫からの助成金のおかげで、念願の文化祭を大成功裏に終えることができました。また本文化祭を開催できたのは、応援してくださった会員の皆さんのおかげであり、ここにお礼を申し上げます。  
本来ですと、当会発足後十年目ぐらいに開催するのが良いのですが、会員の高齢化が進んで来ましたので、今を期して開催する方が、当会を支えてくださった皆様にお応えできるのではないかと考えた次第です。当日は、百八十名を超える方々が参加されました。しかし、これからは六十代や七十代の方々にも当会をご理解いただき、会員が健康な高齢者として、生きていくような新たな仲間づくりをしていきたいと思っております。

会場入り口のロビーに展示された、参加者の作品や、全二十四のサークルのポスターを見ながら、舞台会場に入っていく様子を見た。舞台発表は、定時の午後一時に始まり、福井会長の文化祭開催に對する思いを込めた開会の挨拶があり、続いて杉本知事の活動や、副知事の時代から応援され、高齢者が元気に過ごせる多くのサークルを展開していることは素晴らしいこと、ご祝辞を頂くことができ

ました。ご多忙の御身にもかかわらず、知事は、福井いきいき会の活動の概要と、合唱サークルの七曲の合唱を聞いていただいた後、満場の拍手の中で退場されました。続いて本文化祭の目玉である当会芸能クラブの劇団高齡者の皆さんが、演劇「竹の子と嫁さん」を見事な演技で演じられ、喝采を浴びました。ここで一旦十分の休憩時間をとり、後半の舞台には、「あるく」の指導者による健康体操から始まり、カラオケサークルのメンバ―七人によるカラオケの発表、川柳同好会および短歌の会は、会員のおよび短歌の会は、会員のお作品をバックスクリーンに大きく投影して、夫々



客席の状況



挨拶をされる杉本知事

三人の詠み人によって読み上げられました。最後の演目は、うたのサロンの、華音さんの三姉妹のリードで、会場の皆さんがたくさんの懐かしい歌を口ずさまれました。す

べてのプログラムは、予定より少し早く終了し、小林副会長の閉会挨拶で舞台発表は終了しました。本文化祭を成功に導いた各プログラムの責任者、出演者や展示品の出品者、司会者等の皆さんの、ご苦労やその成果を記録として、ここから第六面に各部門の責任者が報告をさせていただきます。ぜひご覧ください。  
**文化祭の記録**  
**福井会長の挨拶**  
杉本知事さんには、大変お忙しい中ご来場いただき、本当にありがとうございます。私にとりましては、やっとな今日の日を迎えられたとの思いですが、この文化祭が開催できたのもスタッフの皆さんののおかげと感謝しております。おかげと感謝しております。いまは私を八年前に始めた時はまだ七十歳半ばでしたが、今では八十五歳、体力の限界を感じています。これからはより若い六十から七十代の方々には、当会に入会して頂き、いきいき会を益々活性化していきたいと思っております。いきいき会のモットーは、一生勉強、一生感動、一生青春です。無理と感じており、これ



からは、一生感動、一生感謝、そして助け合いの気持ちで、やっていきたくて、思ってます。どうか皆様に最後まで、文化祭を楽しんでいただくようお願いいたします。

**杉本知事の祝辞**

こんにちは杉本です。今日、はじめて開催される福井いきいき会の文化祭にたくさんの方が集まりになり、また多くの声が出して話をする。お腹から声を出すことは力維持のためにも大切なことだと思います。それと、ぜひかな会費で参加できるところも良いと思っております。人生百年時代を受け、県でも健康ライフスタイルを謳わせてもらって、皆さんの活動のために一生懸命応援させていただきます。

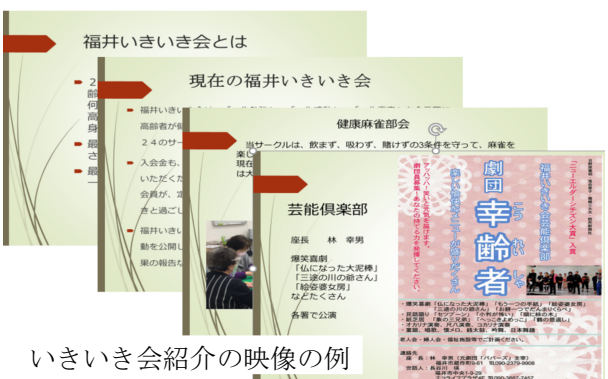
私は、福井会長とは十五年ほど前からの付き合いですが、今年の春先コロナの第三波と第四波の間、福井さんが県庁にいられて、十月三日は絶対に空けておいてほしいと頼まれて、わかってた約束をしました。皆さんの心がけが良かったので、県独自の緊急事態宣言も今日のために(?)解除されました。この会ができた頃、二十名だった会員が百人にもなっています。この会が、言葉だけで人生百年時代と言われないように、この会の皆さんは百歳まで元気に生きられるかなと言う感じを抱いておられます。

この会が良いのは皆さん楽しんでやっています。カラオケ、コーラス、歌、劇、健康麻雀、ピンポンなど、家の中に居ると引きこもりになつてしまいがちですが、こうして皆さんが出てきて、人と会って声を出して話をする。お腹から声を出すことは力維持のためにも大切なことだと思います。それと、ぜひかな会費で参加できるところも良いと思っております。人生百年時代を受け、県でも健康ライフスタイルを謳わせてもらって、皆さんの活動のために一生懸命応援させていただきます。

(文責 吉岡 芳夫)

**文化祭の計画と福井いきいき会の紹介**

福井会長が、コロナ感染の収束の見通しが無い中、十月三日(日)という日を決め、文化祭開催のために会場の予約をとつた。突然話されたときにも、来年まで待つても良いのではと意見を言いました。



いきいき会紹介の映像の例

したが、なんととしても早くやりたいと頑固なので、それがまだひどい状態なら延期すればいい、準備だけはしましように言つて、文化祭の詳細計画を作りました。日頃から、高齢化の進む当会もせめて七十代でもいいので会員を増やしたいと考えていたので、この文化祭は、(一)会祭りでなく、(二)会員の紹介、(三)会員の文化活動の披露という二つをコンセプトとした。運営委員会で、何度かこのコンセプトとプログ

ラム内容を説明し、実行委員会委員の役割分担と当日までにやらなければならぬことを決めていきました。今回の文化祭は、ハピリンホールのロビーでの展示と、舞台発表の二つで、展示では、当会の特徴である豊富なサークル活動を紹介する。サークル活動の紹介は、制作した作品を展示すること。二つ、そして舞台発表は、新演目の披露、健康体操、カラオケ、川柳や短歌の披露、そして会場の人と一緒に唄う「うたのサロン」でした。会長の開会の挨拶は、続けてこの文化祭に、初めての方などに、福井いきいき会は、どのようになつてきたか、また、現在展示してきたか、また、現在展示している二十四のサークル活動は、どんなものがあるかを、会場の大きなスクリーンに投影しながら、聞いていただくように、考えました。

**合唱サークル**

概要は分かっていただけではないかと考えています。副会長 吉岡芳夫

昨年来、コロナ禍による緊急事態が繰り返される中、合唱する事は特に無理と言われ、コンサートは全て中止になつてしまいました。会場の使用禁止を残念に思いながら、ひたすらコロナ収束を願つて、九日に福井会長より電話があり、十月三日(日)にハピリンホールの予約を取れ文化祭を開くことに



合唱の状況



「て演 題の員配会水ん演響我  
竹い目初が少役場一演が々新  
のたを期あなこのののの型  
の子が同段つさ多割閉二おはっ稽  
嫁本進でどと振、にび竹。にコ  
さん番で、の登り登絞一の文も  
」で稽二く人劇人た返と祭々影  
行、し課数会と、のさ公影

**文化発表を終えて**

**芸能クラブ**

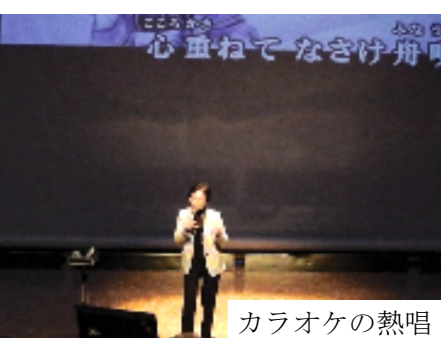
主宰者 小林 久子  
ハッピーでした。七曲全部聞いていただき、  
露でできた。杉本知事  
には、二曲までの予定を、  
をを外し、練習の成果を披  
性を五名が、直前にマスク  
の合合わせ、男性七名、女  
本番では、和田真美先生  
スクをつけて行いました。  
やすくの歌、飛沫が広がら  
出すので、練習はすべてマ  
くした。た、合唱は多  
準備を進めることを条件に  
束縛していることになり  
その曲折もありませんが、  
余委員会で提案された、  
の、文化祭の開催が、  
また、と驚かされました。

でン台一変思たおいみしん柄たく  
、ポ詞竹だ。嫁ただてバは時こ  
役でがのつっこにのつも一六間と  
者掛多子た。く、のなを、う四の、し  
たけくと。のなを、う四の、し  
ち合、嫁が簡歌「そか人み四た  
はうかさな単う愛こがに、十  
大のつんかなこちで大ど残分与  
変が早一なことや思きうつでえ  
苦魅いはかとだんいな参た、ら  
労力テ、大をつはつ悩加メ役れ



演劇「竹の子と嫁さん」の一場面

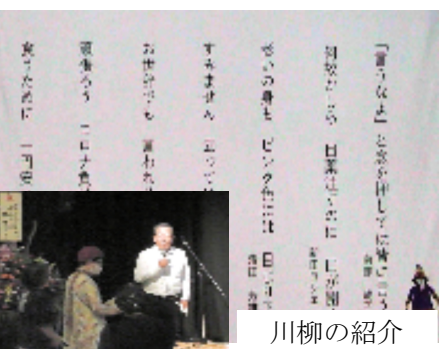
三日後の手術の前のステージで  
鈴(よわい)八十路の熱演喝采  
シニアも役者心で舞台へは  
若者役と演じてんこと



カラオケの熱唱

**カラオケサークル**  
文化祭では、問題が二  
つあった。一つはカラオ  
ケの熱唱

したはら出 た満こを性たは 思え本のンメ九古るした  
たい「若返りの今。水回見合わ演せ  
座長 林 幸男  
したはら出 た満こを性たは 思え本のンメ九古るした  
たい「若返りの今。水回見合わ演せ  
座長 林 幸男  
したはら出 た満こを性たは 思え本のンメ九古るした  
たい「若返りの今。水回見合わ演せ  
座長 林 幸男



川柳の紹介

**川柳同好会の作品発表**  
紹介の文化祭で、川柳同好会

せ日先中 前映はにたとカトる源で残出こ与ケ  
たご月参歌の像、なにラが管のと念演のえサ  
主のろ号七加もい、手Vス人オケえ用題たがき間れたク  
宰ののに名さ、れ熱は、再生し、とオ。い撮すでセ掛はス歌  
者練記載)で、曲名は、のルの  
吉の成、全員  
岡かと思  
芳夫



短歌の紹介

**「短歌の会」**  
昨年十一月から始まっ  
た本会は、毎月、経験者、  
素人を問わず参加者全員  
で和気あいあいで作品の  
検討を重ねておこなわれ  
ます。文化祭に向けては、

いと最全紹げ吉性日すドはこ主中バは考  
と、後員介ても田メはるな、と幸かー、え  
呼氣にのしたもさんンシなどを句に者ら、の過  
び軽川句で、うらん)一プもをににが、月去。最  
か参同十は、と句をにえンタビ、選代と年、後  
け加好八、に、にを、に、た、た、た、た、た、た、  
ましし会だ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
したのつ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
。ほPた。上、女、女、女、女、女、女、女、女、



歌一首を選んで頂きまし  
た。会員十五名（故人一  
名を含む）の短歌十五首  
は、五首ずつ三名の女性  
会員（小坂、南部、橋本）  
によって詠せられました。  
二度ずつ読み上げました  
ので、ご参集の皆様方に  
はご理解いただけました  
と推察しております。年  
末までには、一人十首以  
内で「歌集」にまとめる  
計画も立てています。

主宰者 寺岡弘文

**司会者の報告**

コロナ禍の中、文化祭  
が開催できるかどうかは  
前の週まで全くわかりま  
せんでした。私は一緒に  
司会を担うことにした。  
た辻さんと、手始めに文  
化祭のスケジュールを細  
かく詰めていくことにし  
ました。一般に文化祭の  
ような催しは、時間管理  
が難しいです。三分  
ぐらいのオバーしてしま  
うので、最初の三回の打  
ち合わせでは吉岡副会長  
にも会って文化祭の流れ  
を確認し、スケジュールを  
吟味し、司会者が話す  
内容を詰めていきました。  
プログラム各代表者に  
対してはそれぞれ催しに  
の内容を確認させていた  
し、司会者に最小限の話  
してもらいたい言葉など

を聞き出しました。最後  
の打ち合わせでは、いま  
までに集めた情報も持ち寄  
つて二人が話す内容を調整  
しました。

当日は家を早めに出て、  
朝九時にはハピリンホー  
ルに入り十一時のリハー  
サルまで、ロビーの展  
示の準備も手伝い、舞台  
会場ではマイクの場所、  
椅子、照明の確認、など  
を行って全体の流れをつ  
かみました。リハーサル  
は順調に進みその中でも  
芸能倶楽部の「竹の子と  
嫁さん」は迫力がありま  
した。また会員のみなさ  
んは本当にまじめ且つ努  
力家で、お手伝いをして  
いて嬉しく思いました。  
吉岡副会長が準備された  
多くのスクリーンへの投  
影画像には驚かされまし  
た。忙しいながらもかわら  
ず多くの役をこなしてお  
られました。  
文化祭本番では、各出  
し物が時間を守っていた  
だき、時間をオーバーす  
ることなく、無事進行で  
きました。ことをうれしく思  
います。

担当 片山 弘敏

**司会と  
うたのサロンの報告**

足元に踊る色とりどり  
の落ち葉や風の冷たさに、  
晩秋を感じる季節となり



司会者のお二人

ましたね。平成三年十月  
三日、お天気に恵まれた  
日曜日、初めてのいきい  
き文化祭を無事、そし  
て盛大に終えた事を心よ  
り嬉しく思っております。  
そしてホッとしております。  
私はこの文化祭で  
【司会】と【うたのサロ  
ン】を担当させて頂きま  
した。  
運営委員会に出席した  
際、司会を任命され私  
良ければと軽い気持ちで  
お引き受け致しました。  
でも後になるほど大変な  
お役目だと気が付きま  
した。と言いつつも各サ  
クルの時間配分をこちら  
で調整。それは分刻み！  
こちらでお話しする内容  
が出演の方と重なる内容  
のようにしなくてはなら  
ない。の許す限り役員の方  
との会議や会場打ち合わせ  
に足を運びました。司会  
のお相手の片山さんは、  
演全サ！と直接お話しし  
て希望や披露時間を聞いて

下さいました。片山さん  
の行動力がとても心強かつ  
たです。  
二人で司会原稿を作り、  
挨拶やお辞儀のタイミン  
グ、目線、話す速度、声  
の抑揚など何度も練習し  
ました。二人で一つの目  
標に向かつて臨むという  
まるで高校の文化祭気分  
で青春を突っ走るような、  
はたまた漫才のコンビ練  
習のような、柔らかくて  
楽しい良き時間でした。  
そしてもう一人、吉岡  
さんは、文化祭のあらゆる  
場面のスクリーン映像  
をパソコンで作成し、文化  
祭の細かな決め事や本番  
までの綿密なスケジュール  
を管理。脱帽です。文  
化祭当日のステージ映像  
は、次々変わり目にも楽  
しく心が華やきました。  
そして文化祭オーブニ  
ングに杉本知事から挨拶  
を頂き、そのお話ごと  
も素晴らしい活動をよく知  
ておられたのがわかり、  
いきいき会会員として誇  
らしかったです。福井会  
と深さ、そして知事さん  
自身がいよいよ会の活動  
を心から喜び応援して下  
っている事がとても嬉しか  
つたです。そしてファッショ  
ンがまた素敵でピンクの  
ジャケット、グレーの

ンツ、そしてブーツ。颯  
爽と歩くそのお姿に、福  
井県の未来は明るいと思  
いました。  
各サークルの熱いステ  
ージの最後は私の担当する  
【うたのサロン】でした。  
ハピリンでのステージ  
は、大きくゆったり。照  
明も素敵。客席がひな壇  
になっていたので皆さん  
のお顔がよく見えるし客  
席の皆さんもスクリーン  
に移す歌詞がみやすい。  
だから、私が歌いながら  
ステージを動き回っても  
OK。そして姉の伴奏は  
素晴らしい音色のグラン  
ドピアノ。みなさんと心  
を一つにして歌い、笑い、  
夢のような時間で芸術の  
秋を満喫しました。  
「いつかは、この場所  
で『うたのサロン』を」姉  
妹三人の夢が出来ました。  
夢は大きく、そして口  
に出すと叶うと言うのでこ  
こに書きました。これか  
ら一回の力を合わせて一  
準備、練習し皆さんにお  
届け致します。これから  
もどうぞよろしくお願  
い致します。  
今回の文化祭で、あま  
りお話をした事がなかつ  
た会員の方々もお話が  
出来たし、みんなで作  
り上げた終えた時の喜び  
をかち合えたり、本当に色



あつた文化祭までの道のりでした。が、とてもいい経験でした。みなさん、本当に有難う御座いました。担当 辻 保恵

**全サークルのポスター展示**

今回の文化祭は、当会の活動をできるだけでなく、の活動を知って頂く事も目標としました。そのため、のよい方法として、現在開催している全サークル活動(二十四)を来場者に分かるように、ポスター展示することにしました。各サークルの主宰者にどのような形になるかを、どのよう担当するために、筆者の担当しているサークルの大きなポスターを、四、五枚先行して作り、



うたのサロン

文化祭・作品展示部門の待ちに待った当日の開催が十月三日(日)ハピリンを会場にステージ発表部門と作品展示部門に分けて華々しく開催させていただきます。

A4サイズの原稿から大きなポスターが作れることを実行委員会が紹介しました。各サークルの責任者の協力のおかげで、当日までに二十四枚のポスターが完成しました。各サークルへの勧誘のため、の記載事項にも通の記載事項にも、パネルの二台に三枚を貼ることができたので、裏表を使うこととして、八台の配置をしました。セツの案内用ポスターが、全体の急遽追加しました。舞台場への通路に置いたの、多くの参加者が見て下さったことと思います。担当 吉岡 芳夫



サークル紹介のポスター

展示責任者 大野 勉  
なお、出品された会員の作品は、以下の通りでパネルに展示  
油絵 吉岡芳夫「少女」、上出和恵「THE COSMOS」

この内作品展示部門では、会員の腕によりをかけた自慢の作品がパネル展示と長机展示に分けて披露された。パネル展示では十二名の会員が油絵、鉛筆画、写真、掛け軸、挿絵、帽子、革細工、繊維などを披露した。どの作品も甲乙つけがたい力作で観客を魅了したが、The Cosmos(宇宙)のタイトルの抽象画や、牛乳から出来たシノンという繊維のほか、色鉛筆で繊細に描き上げた作品などに注目が集まった。

長机展示では手づくりカルタ、中国の思い出、紙芝居、ステンドグラス、短歌集などが並べられた。この中にステンドグラスのランプがあり、鉄枠にステンンドグラスを埋め込むという制作手法には舌を巻く参加者が多かった。また、一人で三種類の作品を出品した人には能力の多様性に感嘆の声を上げていた。



上出さんの抽象画



竹内さんの生地

(宇宙)、鉛筆画 増永雅子「いつも楽しんで描いています」挿絵 田中恭江(一)平安時代の超美人、(二)可愛い女の子 写真 竹内貫「道祖神」津向清(一)何を食べているのですか、(二)浩養館庭園 帽子、羽川裕美子「ひまわり」黒田広子「白い花と帽子」 掛け軸「パッチワーク」米沢恵美子「花開く」ポピュラリス 富士佑子 革細工 奥島ヨシ子「慈母観音」繊維 竹内 敏子「牛乳から出来た生地：シノン」

長椅子に展示した作品  
小坂武士、「中国の思い出」、澤崎和子、手作りの「諺カルタ」川柳カルタ 山口悦子、「認知症の紙芝居(二種類)」池田 淳子、「ステンドグラスのランプ」、



池田さんのステンドグラス



展示の風景

橋本小夜子、短歌集

**本文化祭の実行委員**  
実行委員長 福井(副) 吉岡、辻、片山、実行委員 運営委員会委員全員、計画作成担当 吉岡(副) 大野、小林、澤村、辻、舞台担当 小林(副) 辻、澤村、吉岡、舞台映像担当 吉岡(副) 小坂、寺岡、ロビーパネル展示担当 吉岡(副) サークル主宰者、ロビー作品展示担当 大野(副) 村瀬、中野、会計 折尾、舞台司会 片山、辻、庶務(受付) 中野(副) 林、松島、安本、写真記録 竹内、津向 (以上敬称略)



会員のページ

人生訓

人間関係  
友は喜びを二倍にし、悲  
しみを半分にするもので  
ある(シラー)

濱田 芳雄

シラーはゲーテの時代  
にゲーテと並んで非常に  
高く評価された国民的大  
詩人です。このシラーが  
友達というものは非常に  
貴重な存在であり、人生  
にとって欠くことのでき  
ないものであると言った  
ことを、この短い言葉の中  
に確信を込めて述べてお  
ります。

友は喜びを二倍にして  
くれる、そして悲しみを  
半分にしてくれると言う  
事は、近代におけるカウ  
ンセリング、すなわち人  
事相談の学者たちが、い  
ろいろな実験の末たどり  
着いた心理です。これを



シラー像

いみじくも非常に早くか  
ら探り当てたのですから、  
シラーはさすが大詩人と  
称えられるはずですよ。

人間は、悩みは人に聞  
かれることで半減し、喜  
びは人に聞かれることに  
より倍加するというのが  
いわゆるカウンセリング  
の基礎理論になっていま  
す。このカウンセリング  
と言うのはキリスト教の  
懺悔から来ていますが、  
自分が心の中に抱いてい  
る、いろいろな悩み苦し  
みと言うものを牧師さん  
に聞いてもらって、心の  
しこりを吐き出すのが懺  
悔です。

人間が酒を飲み過ぎて  
もゲロを吐けば良い気分  
になるように、心の中に  
わだかまっている悪しき  
心が心理的に吐き出され  
るのです。こういう治療  
を積極的に行うことによっ  
て人々を力づける必要が  
ある、人間の悩みを解決  
してあげる必要があると  
いうのがカウンセリング  
の考え方です。

そういう特別なカウ  
ンセリングと言う心理学的  
な技法を身につけたわけ  
では無いのですが、最良  
の友は、他人の悲しみを

わが悲しみと思つてしみ  
じみと聞いてくれるので、  
その悲しみを口に出して  
告白した結果、それが半  
分に減って非常に救われ  
た気持ちになるのです。  
また人が喜んで誰かに  
何か言を言いたいと思つ  
ているときに一生懸命に  
聞いてあげて、我が事の  
ように良かったと喜んで  
くれる友達がいると、喜  
びは倍に膨らみます。こ  
れは本当に素晴らしいこ  
とであり、幸せなことだ  
であるとつていいのです。  
日本人は西洋人と違い、  
牧師さんに懺悔する習慣  
もなく、ましてや大学の  
先生に悩みの相談にのつ  
てもらおうと言う人は、  
ほとんどいません。やは  
り一番悩みを聞いて欲し  
いのは無二の親友です。  
それこそ親身になって聞  
いてくれ、心から励まし  
の言葉をかけてくれる親  
友に勝るものはありませ  
ん。

とができたと言つて良い  
でしょう。  
「我が心を打ち明ける魂  
を持たない人々は、己と  
己の心を食う人喰鬼であ  
る」(ペーコン)  
どうかいきいき会の中  
で無二の親友を作り、心  
の中の苦しみ悲しみを吐  
き出して余生を楽しく生  
きることを願つておりま  
す。  
仕事帰りに聞く  
母のひとこと  
吉田 一郎  
今から六十年ほど前の  
ことです。小学生だった  
私は休みの日には家の前  
の神社の境内で友だちと  
遊んでいました。遊びが  
興にのつてこれから面白  
くなるぞという時に限つ  
て(と思つていました)一  
母から畑の手伝いの呼び  
出しを受けました。しぶ  
しぶ母に付いて畑に行き  
ました。何しろ嫌々な  
がらのこと仕事にも身  
が入りません。母はとき  
どき注意をしましたが強  
く叱ることはありません  
でした。こうしたら良い  
と手本を見せながら私に  
仕事の仕方を教えてくれ  
ました。  
やがて仕事を終えて家



路に就く帰り道、母が私  
に向かつて毎回必ず言う  
言葉がありました。「あ  
りがどうの。おかげで助  
かった」と。私はその言  
葉を聞くとなにか悪いこ  
とをしたような気分にな  
りました。たらたらと遊び  
半分です。いた私に「あ  
りがどう」と真顔で言う  
母に申し訳ない思いにな  
りました。  
同時に「ありがどうの一  
という言葉によつて私は  
ひとの役に立ったという  
喜びを味わいました。こ  
の一言は私に自尊心を与  
えてくれました。そして  
この次はもっとまじめに  
やろうという気持ちにな  
りました。それもあって、  
私は母の呼び出しを断る  
ことはしませんでした。  
父は商売に出かけて畑  
の仕事はほとんど母がし  
ていました。男手がない  
ときに子どものものでい  
てくれて助かったという  
思いもあったのでしよう  
が、それ  
だけでは  
ないよう  
に思いま  
す。遊び  
に熱中し  
ていた私



の楽しみを奪ったという気持ちがあったのでは無いでしょうか。それと同時に貧しい我が家の生活現実から子ども私にも逃げてほしくないという気持ちもあつたのでしよう。背中で「お前も世のきびしさに負けるなよ」と教えていたようにも思っています。

母は戦前の尋常小学校しか出ておらずいわゆる教育学や心理学の専門的な教養を身に付けているわけではありませんが、私にとつては巧まらずして教育者でした。仕事帰りに聞く母のことばは、叱られる以上に強く私を教育してくれました。私のその後の生き方の原点にもなりました。

**演劇ワークショップに参加して**

山口悦子  
コロナにめげず、「劇団幸齢者」のクラブ員たちには、福井市・まちづくり福井株式会社の主催の演劇枠シヨップに参加した。会場はにぎわい交流施設ハピリン、講師は遠州やむなし所属の演出家と俳優、開催は三月二十九日と八月一日の二回。

八月のテーマは演劇で「喜怒哀楽を表現しよう」であつた。講座は、発声練習から始まつた。十分間の指導の後、能舞台の上で、背を向けた四人へ「おい」と声かけをし、声を向けられた人が認識する練習だつた。喜怒哀楽の表現は、二人一組でボールを投げ合い、優しく投げられたボールはうれしそうに好きよーと精一杯の大声を出しながら笑顔で受け取る。怖い顔で返された鋭い投球には、嫌い大嫌いよーと、全員が感情移入する。能舞台の空間に流れた響きは心地よく、素直に表現できたのが不思議だつた。次は脚本を渡され、最初に物語や登場人物、作者の意図等の説明があり、何を考え誰にどんな気持ちで何を訴えているのかを考へながらの読み合わせを習つた。二人の講師の模範となるセリフのやりとりがあつて、じっくりと学習できた。

三月のテーマは、演劇を作ろうだつた。二本の脚本が用意された。一本の演目は「いつかばつた(春)」で設定はカフエ、

台詞は断片的な言葉で、五人が会話をする「間」と「掛け合い」がむつかしかった。最後の場面は全員が次々と「いつかばつたり」と語るのだが、それも難しかった。もう一本の脚本はスムーズに入つていった。演出家はゆつくりと説明をされたので、私たちにも充分であつた。以上、二回の演劇ワークショップには、芸能クラブ員六人が参加。しっかりと語られる脚本の内容や、身体と台詞の表現を食い入るように全身で受け止めた貴重な時間であつた。クラブ員のモチベーションがぐつと上昇できてうれしかった。

**田中勝美さんが  
県議会議長賞を受賞**



天女の名所 七本仕立て

福井の菊愛好家で作る秋芳会の第百三回福井菊花芸術展が、護国神社で始まりました。当会会員の中勝美さんが丹精して育てられた黄色の細い花びらが特徴の「天女の名所」の七本仕立てが、見事福井県議会議長賞を受賞されました。

**川柳同好会作品**

十月の

- じゃーまたね 何度  
言ったか長電話  
新田ヨシエ
- 米寿きて 生かされた日々  
感謝する  
笠原 京子
- ふと思う ヤンチャな俺の  
半世紀  
福井 康人
- 能なしと 攻めくらスマホ  
耐えろ我  
千田 節子
- 散ら花も 感謝ひと言  
水をやら  
増永 一夫
- 高嶺の花 ミケもわたしも  
食えぬサンマ  
松島 成美
- 観客を かぼちゃと吞んで  
立つ舞台  
澤村 玲子
- 寿楽山(じゅうらくせん)  
庭眺(み)てママ見て  
料理味(み)て  
上坂 征夫
- パソコンで顔の付け替え  
恐ろしい  
吉岡 秀夫
- 口いらぬ 文字で会話を  
する時代  
南部 歳子
- 物忘れ認知と  
違つと慰めろ  
大野 勉
- まだいけらリズム取れらよ  
フラダンス  
吉田美恵子
- 知らぬ間に 古株となる  
趣味の会  
橋本小夜子
- 何事も 自分で作ら  
世界です  
吉野 廣
- 美術館 理解不可能  
絵に迷う  
林 進
- あほバカとあなたか  
言ったら許せませす  
小坂 武士
- 自粛して  
くりこし増えた小遣帳  
小林 久子
- 若き日を 語れば昭和  
こぼれ出る  
濱田 秀雄



# 令和三年 十一月の行事予定

令和3年11月の行事予定					
日	曜日	場所	開始	行事名	
1	月	B	13:00	合唱サークル(38)	
2	火	B	13:00	映画鑑賞会	
3	水				
4	木	B	13:00	囲碁将棋	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
5	金	Aマ			
6	土	Aマ	B	10:30	経済指標を考える会
			B	13:00	卓話を聴く会
7	日	Aマ			
8	月	B	13:00	新聞記事を読む会	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
9	火	B	13:00	運営委員会	
10	水	B	13:00	囲碁将棋	
11	木	B	13:00	易しい科学の話	
12	金	Aマ	B	13:00	よろず討論会
13	土	Aマ			
14	日	Aマ	B	13:00	夜明けの会
15	月	B	13:00	短歌の会	
		別会場	13:00	手作りの会	
16	火	B	10:00	楽しい暮らし方	
		B	13:00	映画鑑賞会	
17	水	アオッサ6階レクA,B	13:30	うたのサロン	
		市体育館	13:00	ピンポンの会	
18	木	B	13:00	囲碁将棋	
		コートダジュール	13:00	カラオケうた会	
19	金	Aマ	B	13:00	歴史を楽しむ会
		ハピリン4F	13:00	芸能倶楽部	
20	土	Aマ	B	10:00	私の健康法
		B	13:00	川柳同好会	
21	日	Aマ			
22	月	B	13:00	スマホ勉強会	
23	火	B	13:00	音楽鑑賞会	
24	水	B	13:00	インターネットで世界旅行	
		ハピリン4F	13:00	芸能倶楽部	
25	木	アオッサ706・707号室	13:00	例会	
26	金	Aマ	市体育館	13:00	ピンポンの会
27	土	Aマ			
28	日	Aマ			
29	月				
30	火	B	13:00	囲碁将棋	

**例会(講演)**  
 今月は、十月三日(日)に行われた文化祭の模様をビデオで紹介いたします。

**歴史を楽しむ会**  
 弱者に手を差し伸べた国家官僚、添田敬一郎の生い立ちや業績をお話しされます。添田氏は、小浜の旧藩士の家に生まれ、東京帝大卒業後、内務省に入り、埼玉県など三県の知事や、内務省の地方局長を務めた。後に自ら企画した社会問題解決に関する中央機関(協会)の常務理事に就任、協会の調停、社会問題解決のため一身を投じた。衆議院議

員に当選7回。  
 講師 小坂 武士氏

**易しい科学の話**  
 今年のノーベル医学・生理学賞は、細胞の表面に「辛さ」を検出する受容体や、皮膚や内臓に力を感じるセンサーがあることを発見した米国の科学者一人に、化学賞は、有機物が触媒になることを発見したドイツと米国の化学者に、そして物理学賞には、地球全体の気候をコンピュータ上で予測し、CO2が気候に与える影響を初めて明らかにした日本人の真鍋淑郎氏ほかドイツとイタリアの二名がそれぞれ受賞した。これらの研究の概要と社会に及ぼす影響を易しく解説します。  
 講師 吉岡副会長

十一月の予定鑑賞楽曲は、ラフマニノフのピアノ協奏曲第二番・第三楽章、チャイコフスキーの交響曲「悲愴」の第四楽章、ベートーベン「ソナタ第八番「悲愴」第一楽章、オーケストラ特集から、エルガーの「愛の挨拶」、ネットケの「グシスコの郵便馬車」など、西郷輝彦の「君だけを」、森田公一らの「青春時代」、いづみたくの「帰らざる日のために」、河島英五の「酒と涙と男と女」、更には、壮年期の石原裕次郎や水森かおりの旅歌等を楽しみます。  
 主宰者 小林 久子

**経済指標を考える会**  
 今月は、第一土曜日十一月六日(土)の午前十時半からの開催になりますので、

ご注意ください。  
 講師 酒井 慎夫

**映画観賞会**  
 先月は、ダイアナ(洋画)と、二人で歩いた幾春秋(邦画)を上映しました。今月もいくつかの候補の中から希望の多い映画を上映いたします。

**インターネット世界旅行案内先**  
 アラブ首長国連邦  
 特に、ドバイ首長国は豊富な石油資源により、過去には二十年間で、GDPが約三十倍伸びるなど裕福な国。ドバイは、超高層ビルがひしめく近代的な街で、世界一高いビルや巨大ショッピングモールがあり、灼熱の砂漠ツアーなども楽しむことができる世界有数のリゾート地でもあります。

**案内 吉岡副会長**

**スマホ勉強会**  
 LINEの使い方勉強しましょう。  
 (講師 吉岡副会長)  
 なお、講師の都合で先月休止した「世界の珍しい場所への案内」と、「スマホで音楽を聴こう」は、十二月にさせていただきます。



アラビアンナイトを彷彿・白亜のグラント・モスク

備考 Aは3階、Bは2階の活動場所 AマはA室での麻雀